

# 水道更路 下水管

## 品確協が管理技術士認定

### 16年度から 工法協会資格を統一運用開始

日本管路更生工法品質確保協会(品確協、前田正博会長)は「下水道管路更生管理技術士」資格認定制度を創設し、16年度から運用を開始する。管路更生に関わる各種工法協会15団体が05年度に特別会員として品確協に加盟。07年度から各加盟協会が実施する資格試験についてタイアップし、工法全般の基礎知識を解説する共通テキストの発刊、講師の養成などを通じて実施を支援してきた。新年度から加盟工法協会の資格試験制度を統一し、品確協が認定する制度に改める。

下水道管路更生管理技術士は監督技術者または主任技術者として管路更生に関する施工計画を作成し、現場における工程管理や安全管理など管路更生工事に必要な管理等を行う資格者で、試験方法は筆記によるものとし、一次試験を年4回実施する。二次試験は年2回行い、合格者が登録すると資格者に認定される。初期限は5年間。試験内容は

全国7都市(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)で実施する。台風のポーダールインは70点前後とみられている。資格者証の有効期限は5年間。試験内容は

の客観公正を図るため、学識経験者等で構成する資格試験委員会(委員長・楠田哲也九州大学東アジア環境研究機構特別顧問)が監査する。下水道管路更生工事は現在、建設業法で定める指定建設業7業種のうち土木一式工事に分類されているが、「管路更生工事」として業種認定されるよう中央建設業審議会などに陳情中であり、今回の新資格制度は、将

来の国家試験化を睨んだもの。上下水道や工業用水、農業用水など地下に埋設された管路は老朽化が進む。14年度に更生工法が適用された管路の延長は465キロに及ぶ。00年度に比べると2.2倍となり、右肩上がりであり続けている。社会インフラ長寿化支援制度の創設や、昨年の下水道法改正等で、管路施設の維持管理は予防保全型に転換しつつある。その手段として管路更生工法に対する期待が一層高まっている。品確協は1999年の設立以来、「業種認定」「資格制度」「公益(社団法人)化」の3点セットを目標に掲げ、実現をめざしてきた。その1つが実現したこと、公的認知向上に向けた取り組みも加速してきた。

## 防草技術を高評価

### 石川重規氏に本賞

日本発明振興協会と日刊工業新聞社が主催する第41回発明大賞表彰式が15日、東京都港区の明治記念館で開催され、石川重規氏が「植物の特性を利用した防草技術」で発明大賞本賞に輝いた。発明大賞は画期的な発明を通して産業振興や国民生活に寄与した中小企業や個人に贈られる。41回となる今回は75件の応募の中から22件の発明が選出された。石川氏が

「植物の特性を利用した防草技術」は、コンクリートブロックに植物自ら成長を止める目地形状の切りかけを入れ製造することで適用する。現在、全国防草ブロック工業会を通して全国で481件、1266平方メートルの施工実績を持つ。自治体からは薬品や除草作業が必要な従来と比べ、維持管理コストが低減されたと評価されている。

受賞者を代表してあいさつに立った石川氏は「この技術は私の父が70歳の時に手掛けたもの。予想から50億円減り95億7700万円。」

植物の特性である屈性を考慮し、また植物の成長ホルモンの一つであるオーキシシンを利用することで開発に至った。現在北海道から沖縄まで32道府県36社によって道路用コンクリート製品として製造され、国土交通省をはじめ各地域自治体で公共事業に利用していただいている。この受賞を今後の励みとし、また新たな物づくりに挑戦していく」と話した。

手員外社がトップシェアを持つ中、共販事業を構築、4年間は順調に値戻しを進めてきた。その後大手組合員を擁して、その後は大手組合員が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。

## 研究成果を報告

### バルテックスへ技術資料に活用

セニフ田が東京都下水道サーベラ、日水コン、日本工営、日本下水道新技術機構などと共同で取り組んだ「バルテックス」に関する共同研究」の成果がまとまり、同機構が7日に開いた下水道機構技術委員会(委員長・松井三郎京大名誉教授)で他の7件の研究成果とともに審議、了承された。

その後、技術マニュアルまたは技術資料として5月、日本工営、日本下水道新技術機構などと共同で取り組んだ「バルテックス」に関する共同研究」の成果がまとまり、同機構が7日に開いた下水道機構技術委員会(委員長・松井三郎京大名誉教授)で他の7件の研究成果とともに審議、了承された。

このほかの研究テーマは次の通り。▽チェーンフライト式汚泥かき寄せ機技術(技術資料)▽省エネ型反応タンク攪拌機(技術資料)▽下水処理場の効率化のための情報共有(技術資料) 6月に研究成果の説明会を開く予定。

「植物の特性を利用した防草技術」は、コンクリートブロックに植物自ら成長を止める目地形状の切りかけを入れ製造することで適用する。現在、全国防草ブロック工業会を通して全国で481件、1266平方メートルの施工実績を持つ。自治体からは薬品や除草作業が必要な従来と比べ、維持管理コストが低減されたと評価されている。

受賞者を代表してあいさつに立った石川氏は「この技術は私の父が70歳の時に手掛けたもの。予想から50億円減り95億7700万円。」

植物の特性である屈性を考慮し、また植物の成長ホルモンの一つであるオーキシシンを利用することで開発に至った。現在北海道から沖縄まで32道府県36社によって道路用コンクリート製品として製造され、国土交通省をはじめ各地域自治体で公共事業に利用していただいている。この受賞を今後の励みとし、また新たな物づくりに挑戦していく」と話した。

手員外社がトップシェアを持つ中、共販事業を構築、4年間は順調に値戻しを進めてきた。その後大手組合員を擁して、その後は大手組合員が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。

手員外社がトップシェアを持つ中、共販事業を構築、4年間は順調に値戻しを進めてきた。その後大手組合員を擁して、その後は大手組合員が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。

## A&AM 輸出拡充へ海外グループ新設

エアアンドエマテリアル(巻野徹社長)は、4月1日付で支店制を廃止し事業本部制とする組織改革を実施する。支店・工場・生産子会社を事業部門直接管理とし損益責任を明確化する一方、輸出事業を強化・拡充するため建材事業本部建材営業部に海外グループを新設する。15年3月に策定した2017中期経営計画(17中計)でも、20年以降を見据えた5つの基本戦略の1つに「輸出を含む海外事業を拡張し、収益力の強化を図る」ことを掲げている。海外グループリーダーを兼任する建材事業本部の枝村昇建建材営業部部長兼業務部長に輸出の現状と今後の抱負を聞いた。

## 日本製の強み生かす

### 建材事業本部「高付加価値化も追求」

輸出している国とリンマーク建材)の指定や耐火構造の認定も取得し現在に至っている。枝村副部長 台湾向けが最も多く、1985年頃から現地商社を通して当社主力商品である「ハイラック」の商品名で商標登録し、緑建材商標(グ

物も高層化されている。従来、台湾の間仕切り材は、ベニヤ板などが主体だった。約30年前に、火災に強い不燃材の二重石膏ボードが、台湾国内にはメーカーは少なく、開発・製造に時間を要したため当社のハイカル板が白羽の矢が立てられた。このことが輸出を始める契機となり、その

輸出額は当社売上高の5%ほどだ。建設市場が急成長しているタイ、インドネシア、ベトナム、インドネシアなど東南アジアで当社製品の潜在ニーズが強いとみており、輸出の維持拡大に注力し、個人の期待も込めて数年後には現状の倍近い売り上げを目指したいと思っ

く方針だ。インドネシアでは当社グループのアスクテクニカが進出し、二重石膏ボードを製造しており、有力なチャンネルになっている。他方、社員の資質向上を図る一環として、海外語学留学制度が16年度に新設されることになっ

た。フィリピンにある研修機関を利用し、若手を中心に教育していく。3カ月間、毎日が英語漬けになる。帰国後も主体的に学習を継続してくれるものと、期待を込めたものだ。

日常のコミュニケーションはある程度は伝わるが、商談など交渉事になると英語力は不可欠である。高付加価値化も追求

高付加価値化も追求



枝村副部長 台湾向けが最も多く、1985年頃から現地商社を通して当社主力商品である「ハイラック」の商品名で商標登録し、緑建材商標(グ

物も高層化されている。従来、台湾の間仕切り材は、ベニヤ板などが主体だった。約30年前に、火災に強い不燃材の二重石膏ボードが、台湾国内にはメーカーは少なく、開発・製造に時間を要したため当社のハイカル板が白羽の矢が立てられた。このことが輸出を始める契機となり、その

輸出額は当社売上高の5%ほどだ。建設市場が急成長しているタイ、インドネシア、ベトナム、インドネシアなど東南アジアで当社製品の潜在ニーズが強いとみており、輸出の維持拡大に注力し、個人の期待も込めて数年後には現状の倍近い売り上げを目指したいと思っ

く方針だ。インドネシアでは当社グループのアスクテクニカが進出し、二重石膏ボードを製造しており、有力なチャンネルになっている。他方、社員の資質向上を図る一環として、海外語学留学制度が16年度に新設されることになっ

た。フィリピンにある研修機関を利用し、若手を中心に教育していく。3カ月間、毎日が英語漬けになる。帰国後も主体的に学習を継続してくれるものと、期待を込めたものだ。

日常のコミュニケーションはある程度は伝わるが、商談など交渉事になると英語力は不可欠である。高付加価値化も追求

高付加価値化も追求

## 企業・二次製品・PC・環境

## 二次製品談話室

「今年度の九州全体は1万4500トンとなる見込みだ。そのうち組合員のシェアは7割ほど

50%を割り込んでおり、長期低迷を続けている」と話すのは九州

手員外社がトップシェアを持つ中、共販事業を構築、4年間は順調に値戻しを進めてきた。その後大手組合員を擁して、その後は大手組合員が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。

手員外社がトップシェアを持つ中、共販事業を構築、4年間は順調に値戻しを進めてきた。その後大手組合員を擁して、その後は大手組合員が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。



九州ヒューム管協会の理事で、そのうちヒューム管を製造しているの

が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。

が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小も注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している。

## 2月は3.7%増加

窯業外装材出荷

## プレカット材の供給が増加

プレカット材の供給が増加

プレカット材の供給が増加

プレカット材の供給が増加

## エクステリアで「おもてなし」

## 回転窯

回転窯

回転窯

回転窯

回転窯

## 世界に残る

世界に残る

世界に残る

世界に残る

世界に残る